

入院のご案内

～ リハビリテーションについて ～

当センターでは「すべての人が地域でしあわせに生活できる社会の実現」を基本理念とし、住み慣れた地域でその人らしい生活を続けられるよう支援しています。

多職種が連携し機能回復や自宅復帰、復職、自動車運転など社会復帰に必要なリハビリテーションを提供しています。また、退院後のフォローアップ体制として、外来リハビリや障害者支援施設にじ、介護保険事業（通所リハビリ、訪問リハビリ）などを施設内に整えています。

入院初日の流れについて

- 入院当日は、本館4階総合受付で手続きをお願いします。
- 病棟担当看護師が本館4階総合受付までお迎えに参ります。
- 入院当日に、外来で主治医の入院時診察があります。



入院受付

10時までに本館4階総合受付にご来院ください。

- 保険証や紹介状などの必要な書類、および持参薬をお渡してください。
- 事務員が必要な書類（同意書を含む）の説明を行います。

主治医診察

担当看護師が同席します

- リハビリテーションなどについての説明を患者さん・ご家族に行います。
- 入院時の検査を行います。



家族面接

- 医療ソーシャルワーカーが患者さんについてお話をうかがいます。
- 面接終了後、医療ソーシャルワーカーが病棟にご案内します。
（患者さんは検査等が終了後、担当看護師が病棟にご案内します。）

合同面接

- 医師・担当スタッフ全員で、患者さん・ご家族のご希望を確認し、患者さんに応じたリハビリテーション計画を作成します。



オリエンテーション

- 担当看護師が患者さんの状態を把握し、医療面から入院生活などについて説明します。
- 介護福祉士が入院に必要な持ち物の確認をします。
不足している場合、ご家族に補充をお願いする場合があります。



※ 上記の内容は、基本的な入院初日の流れとなります。
順番や時間が前後することがありますのでご了承ください。

入院手続きに必要なもの (本館4階総合受付でご提出ください)

- 健康保険証 (公費医療証・医療券 [お持ちの方のみ])
マイナンバーカードが保険証としてご利用できます。
- 介護保険被保険者証 [お持ちの方のみ]
- 重度心身障がい者医療受給者証 [お持ちの方のみ]



※ いずれも確認後すぐ返却します。

● 限度額適用認定証

- ご本人の印鑑
- 利用申込書兼誓約書

身元引受人、連帯保証人の押印が必要です。連帯保証人には同じ生計の方はなれません。
ご了承ください。また、連帯保証人の『健康保険証』または『運転免許証』の写しをご用意ください。



- 診療情報提供書 (前医からの紹介状)
- 持参された薬、お薬手帳
- 各種同意書、労災書類 (対象者の方のみ)



※ (労災や自賠責の方は、手続きの際にお申し出ください。)

入院に必要な日用品など ※ 持ち物にはすべて記名をお願いします ※

- 下着 (肌着・パンツ) 靴下 (リハビリテーション時に着用します) 各3~5枚
- 運動しやすい服 (リハビリテーション時は袖のある上着・長ズボンを着用します) 上下3~5枚
- 運動しやすい靴 ※ 転倒防止のためスリッパは禁止します。



- 洗面道具等 バスタオル 5~6枚、タオル 6枚、洗体タオル 1枚、歯ブラシ、歯磨き粉
石鹸またはボディーソープ、シャンプー、電気髭剃り、ブラシなど

※ 事故防止のため、はさみ、爪切り、ナイフ、カミソリ (T字含む) などの危険物の持ち込みを禁止します。

- イヤホン (病室でのテレビ視聴はイヤホンを使用してください。売店で購入できます)
- 手提げ袋 2袋 (入浴用具入れ 1袋、洗濯物入れ 1袋)

- ティッシュペーパー、マスク
- お茶を入れる水筒、プラスチックのコップ (歯磨き用)



【必要に応じて】 紙おむつ (当院で購入できます)、ウェットティッシュ (お尻拭き用)、置き時計 (腕時計可)、
テレフォンカード、入れ歯 (保管ケース・入れ歯洗浄剤)、使い捨てタイプ食事用エプロン (感染対策)、
メガネ (ケース)、補聴器 (ケース)、洗濯用洗剤、ねまき、保湿剤 など

入院生活について

患者さんの治療・リハビリテーションの内容については、主治医が「入院診療計画書」などを用いてご説明します。

●起床 7:00

7:00以前にお目覚めになっても、他の患者さんのご迷惑にならないよう、お静かにお願いします。

●朝の検査

定期的に採血・採尿等を行います。起床時間前にお伺いすることもありますので、ご協力ください。

●食事

朝食 8:00 昼食 12:00 夕食 18:00

- ・ 食事時間は配膳状況により多少前後いたします。
- ・ 食事は、食堂で召し上がっていただきます。
- ・ 病状に適切な食事を提供します。主治医に許可を得たもの以外は召し上がらないようお願いします。
- ・ 食べ物の持ち込み・やり取りは、ご遠慮ください。

●服薬

- ・ 入院中は主治医の指示した薬を服用してください。
- ・ 薬の説明等は薬剤師や看護師が行います。
- ・ 病院からのお薬をお持ちの方は、引き続き内服していただく場合があります。
- ・ 市販薬やサプリメントを服用している場合は、病棟看護師にお知らせください。

●リハビリテーション

- ・ リハビリテーション時の服装は、袖のある上着・長ズボンの着用をお願いします。
- ・ 靴は運動に適した靴・靴下着用をお願いします。
- ・ 「リハビリテーション総合実施計画書」を毎月作成し、リハビリテーションの内容や経過などを説明いたします。
- ・ リハビリテーションの内容・時間は、1人1人の病状に応じて個別のスケジュール表を作成します。状況に応じて、スケジュールが変更になる場合があります。

●入浴

主治医の許可が必要です。
病棟の利用時間・利用方法に従い入浴してください。



●消灯 21:00

- ・ 21:00以降は、テレビ・ラジオ等のご使用はご遠慮ください。
- ・ 消灯後は定期的に病室を巡視します。巡視時にはカーテンを開ける場合があります。

●外出・外泊

- ・ 外出・外泊の際には医師の許可が必要です。事前に、主治医または看護師にご相談ください。
- ・ 外出や外泊をする際は、看護師から「外出・外泊許可証」とお薬をお受け取りください。
- ・ 帰院された際は、看護師に「外出・外泊許可証」をお渡しください。
- ・ 帰院が遅れる場合は必ず病棟にご連絡ください。
- ・ 外出・外泊された場合でも入院料、個室料金はご負担いただきます。予めご了承ください。
- ・ 感染症対策により、外出・外泊の制限を実施する場合があります。

●面会

- ・ 面会時間 10:00~20:00
- ・ 平日の17:20以降と土曜日、日曜日・祝日は終日、本館4階時間外通用口をご利用ください。
- ・ 電話による入院・面会のお問い合わせには対応していません。
- ・ ご面会の時は、スタッフステーションの「面会届け」にご記入ください。
- ・ 発熱・下痢など感染症の症状がある方は、ご面会をご遠慮ください。
- ・ 患者さんの病状により、ご面会をお断りすることがあります。
- ・ ご面会は他の患者さんの迷惑にならないようお願いいたします。
- ・ リハビリテーション中、食事中は、ご面会をお待ちいただきますので、ご協力をお願いします。
- ・ 感染症対策により制限する場合があります。

別府リハビリテーションセンター施設紹介



ウエルウォーク



ダートフィッシュ



パワーリハビリ機器



温泉水リハビリプール



PSB(運動補助器具)



ユニバーサルルーム



平行棒歩行訓練



言語聴覚療法



ADL室(家族指導風景)



ADL室(調理訓練)



ドライブシミュレータ



自動車運転コース

【交通のご案内】

- 車をご利用の場合
大分自動車道別府ICより約5分
- JRをご利用の場合
JR別府駅よりタクシーで約20分
- フェリーをご利用の場合
別府国際観光港よりタクシーで約10分
- 飛行機をご利用の場合
大分空港より別府国際観光港までバスで約35分
そこからタクシーで約10分

作成日:2023年4月

社会福祉法人 農協共済 別府リハビリテーションセンター

〒874-8611 大分県別府市鶴見1026-10

電話: 0977-67-1711(代) HP: <https://brc.or.jp/>

別府リハ

